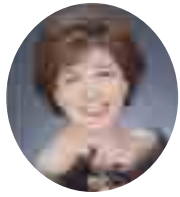


10/27 (日) 3:00pm 工藤篤子賛美コンサート vol.10 入場無料

今年で10年目になります。工藤篤子さんの賛美を聞かされた時に心が震えます。



工藤篤子 (地中海ソプラノ)

札幌大谷短大音楽専攻科及び研究科終了後、マドリッド国立音楽院に留学。1987年、スペイン・ヤマハコンクール第一位、ONCEコンクール二位。声質は地中海ソプラノで、オラトリオのソリストとして、またスペイン歌曲のスペシャリストとして、ヨーロッパ各地の国際フェスティバル

に招かれる。2000年、「工藤篤子音楽ミニストリーズ」を設立。2011年「工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ」と改名。世界の各地で賛美を通して神の愛と救いを伝えている。



野田常喜 (ピアノ)

京都出身。幼少より、教会で賛美歌やゴスペルを熱心に歌う両親の影響を受け、7歳の頃からバックでピアノを弾き始める。大阪音楽大学ピアノ科卒業。現在、クラシックやゴスペルの演奏活動を日本各地で行っている。作曲、編曲、アルバム制作

にも力を入れている。オーケストラを思わせるピアノリズムと、その場の臨場感に合わせ、共演者と対話するような演奏法は、多くの感動と共感を生んでいる。

神にあって生きる

現在、教会に来られている方たちにも、神様との出会いがありました。第10回目は、GHさんにその経緯を語っていただきます。

今からおよそ30年前に、私は宝塚栄光教会に導かれました。“明日洗礼を受けることになったので、立ち会ってほしい”という姉からの電話がきっかけでした。

当時、私たち兄弟は、1年前に両親を続けて亡くし、失意の中にありました。“また明日”と言って別れた次の日に、父親は倒れて帰らぬ人となっていました。寝たきりになっていた母親も、調子が悪くなり、搬送先の病院でホッとすると間もなく亡くなりました。毎日のように母親の世話を訪れていた姉は、このあっけない幕切れに、考えることがあったのでしょうか。その答えが洗礼なのかなという思いもあって、立ち会いに行きました。

それから私自身も、日曜日の礼拝に参加するようになりました。聖書のお話は、歴史ドラマを見ているような、血わき肉おどるものでした。

いつものように礼拝に出ている時でした。今まで、まるで物語を読んでいるように聞いていた聖書の話が、“これって自分のことではないの”と気づかされました。そう思って聖書を読み返してみると、まさにそうでした。出エジプトを果たしたイスラエル

の民が不平不満を言い出す。カナンを地を目の前にして、“すばらしい地でした。でも私たちの手に負えません”と報告するシーン。捕えられたイエス様を“私はあの人を知りません”と恐怖にかられて答えたペテロ…。全て自分の姿でした。今まで人ごとのように読んでいた、また物語として読んでいた聖書の話は、すべて自分の話でした。

強欲な自我、あくまでも知らないと言い張る自我、神様を知らないまま平気で過ごしてきた自分の罪。こんな自分のために、イエス様は十字架にかかってくださり、尊い血潮を流してくださったと信じ、私の罪は赦されました。そして1991年のクリスマスに洗礼を受けました。

あれから30年近く経過しました。いろいろなことが、あっという間に過ぎ去ってしまいました。微力ながらも今、神様のことを伝えていかなければと思います。妻に、子どもたちに、職場の人に、この神様の恵み、主が共にいて、いつも助けてくださることを伝えていかなければ、と。



第44回 阪神クリスマスフェスティバル ナイトdeライト Christmas Live 「希望の歌」

11/30 (土) 6:30pm 開場 7:00pm 開演

於：西宮市民会館アミティホール

大人：前売券¥1,500 当日券¥1,800

中学生以下：¥500

■チケット購入方法■ チケット販売中!

TEL申込み：06-6492-7374 WEB申込み：<http://www.hanshinchristmas.com>



ナイトdeライト

北海道札幌市にて結成された、希望を歌う4人組ロックバンド。2006年5月、東京で開催された「JAPAN G.POPコンテスト」の初ステージで審査員特別賞を受賞。以来、国内外でのライブ活動やラジオ出演を通じて、明日への希望と生きる勇気を音楽に乗せて届けている。

宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com <http://www.takara-eikou.com>

希望のダイヤル

毎週更新。24時間つながります。

0797-77-3746

ポッドキャスト

でも配信!

ホームページから利用できます。

礼拝 毎週日曜日

10:30~11:40



わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく、正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。



あなたはどこにいるのか

天地を創造された神様は、人をご自分のかたちに創られ、鼻にいのちの息を吹き込まれて生きるようにされました。初めの人アダムとエバは、神様と共にエデンの園で幸せに暮らしていました。ところが、一大事件が起こります。蛇の姿をとったサタンによって、彼らは罪に引きずり込まれたのです。

蛇はエバに近づき、彼女を言葉巧みに誘惑して、決して食べてはならないと神様から厳命されていた木の実を、食べるように仕向けました。彼女はまんまとその誘惑に乗り、その木の実を食べ、彼女に勧められてアダムも食べました。こうして彼らは、神様の戒めに背きました。これが罪の始まりでした。罪とは、神様の言葉に背くこと、神様に従わないことだったのです。

木の実を食べたその時、神様が近づいて来られました。それを知った彼らは、こそこそと逃げました。それまでは喜んで神様の前に出て行っていたのに、神様を恐れて、逃げ隠れしなければならなくなったのです。

そのような彼らに、神様はどうされたでしょうか。お怒りになったのでしょうか。聖書を

見ましょう。「神である主は、人に呼びかけ、彼に言われた。『あなたはどこにいるのか。』(創世記3章9節)。全知全能の神様は、彼らがどこにいるのかご存じないはずはありません。しかしあえて「あなたはどこにいるのか」と問われました。それは、彼らが素直に自分たちの罪を認め、砕かれた心で罪を悔い改めて、出て来るのを待っておられたのです。

「あなたはどこにいるのか」。これは、今も私たちに投げかけられている神様の問いです。“わたしから離れて、あなたはどこにいるのか。わたしを抜きにして、あなたは何をしているのか”と神様は、私たちに優しく語りかけておられます。私たちがなすべきことは、心砕かれて“私はあなたから離れて罪を犯しました”と申し上げて神様の前に出て行くことです。そして、イエス様の十字架が自分のためだったと信じることです。そうするならば、神様は私たちの罪をお赦しくくださいます。

神様は、私たちが厳しく責める方ではなく、優しく真実にお赦しくださる方です。イエス様の十字架の血が流されているからです。そのまま神様の前に出て行きましょう。



「 ツリフネソウ ー秋の山野草ー 」

ようやく落ち着いて 秋にふさわしい季節になると 外歩きが楽しくなる
広い 大きな空に向かって 思いきり両腕を伸ばし
大きなのびをして 深呼吸をする
ぐんぐん足をのばして やがて 草の茂る水辺に到着
湿り気をおびた草の中に ツリフネソウが群生していた

赤紫色の小さな花は 3~4cmぐらいの大きさだ
名前の由来となった 帆かけ舟をつり下げたような形の花で
クルリとカールしている姿が かわいらしい
後ろの部分は距きょという
この部分に蜜があって ハチが奥深く入りこんで 蜜を求める

そろそろ花が終わって 実ができてくるこの頃
熟した実は ホウセンカのように弾けて 飛び散る
少し指でつつくと 種が四方に飛んで
その後 サヤがくるくると まるくなった

昔は どこにでも咲いていた花で
毎年その場所に行くと 見ることもできたが
近年 河川の改良や農薬散布などで 減って来ている

“霊”と花嫁とが言う 「来てください」
これを聞く者も 言うがよい 「来てください」と
渴いている者は 来るがよい
命の水が欲しい者は 価なしに 飲むがよい

ヨハネの黙示録22章(聖書)